

2016年8月15日

報道関係各位

丸の内イルミネーション実行委員会
三菱地所株式会社
三菱地所プロパティマネジメント株式会社

今年は新たに大手町エリアでもイルミネーションが点灯
丸の内・大手町・有楽町がオリジナルカラーのシャンパンゴールドに煌めく

「丸の内イルミネーション2016」

開催日時:2016年11月10日(木) 17:00~ 点灯開始
開催場所:丸の内仲通り、大手町仲通り、東京駅周辺

丸の内エリアでは、2016年11月10日(木)~2017年2月19日(日)の期間中、冬の風物詩として街を彩る恒例のイベント「丸の内イルミネーション2016」(主催:丸の内イルミネーション実行委員会)を行います。

「丸の内イルミネーション」は、丸の内エリアの企業・店舗や近隣のオフィスワーカー、来街者の交流を生み出す空間である街のメインストリート、丸の内仲通りを中心に開催。15年目を迎える今年は大手町フィナンシャルシティと協力し、2016年4月に竣工した「大手町フィナンシャルシティ グランキューブ」や、7月にオープンした星野リゾート「星のや東京」が隣接する大手町仲通り※1に新たに点灯エリアを拡大してお楽しみいただける予定です。

ブランドショップが通りを彩る約1.2kmにおよぶ丸の内仲通りや、大手町仲通りの街路樹、合わせて約250本が、上品に輝く丸の内オリジナルカラー「シャンパンゴールド」のLED約103万球で彩られ、クリスマスシーズンの華やかな街並みを演出します。

本イルミネーションでは、従来品と比べ1球当たりの使用電力を65%削減※2する「エコイルミネーション」により、エネルギー使用量を削減し高効率化を実現してきましたが、2014年度より1球あたりの使用電力をさらに30%カットする「NEWエコイルミネーション」を一部に採用。この取り組みが評価され、2016年8月3日付けで、2016年度(第12回)「日本夜景遺産」※3としても認定されました。今年度は、「NEWエコイルミネーション」を約48万球導入し、従来の明るさや輝きは変わらずに、使用電力を一層抑えます。

また、丸の内仲通りにおいて期間中に使用するすべてのエネルギーには、太陽光や風力などの自然エネルギーで発電されたグリーン電力を使用しており、環境を大切にしたい地球に最もやさしいイルミネーションで、約100日間にわたり、この季節ならではの夜景をご覧ください。

その他、丸の内エリアではクリスマスツリーの点灯式やクリスマス装飾、関連イベントなどを行う予定です。(詳細情報は、後日リリース予定)

※1 大手町仲通りでの点灯時期等については、現在調整中。

※2 LED電球1球あたり(2009年度使用のLED電球との比較)

※3 「日本夜景遺産」:一般社団法人 夜景観光コンベンション・ビューローが行う「日本夜景遺産プロジェクト」のひとつで、全国約4,800名の夜景鑑賞士や各地の自治体、民間企業からノミネートされた夜景の中から、全国の「一級夜景鑑賞士(夜景マイスター)」27名と事務局によって、「すぐれた普遍的価値をもつ夜景」や「誰もが楽しめる夜景地」に認定された夜景に与えられる称号。

(<http://www.yakei-isan.jp/index.php>)



丸の内イルミネーション過去開催時の様子

《丸の内イルミネーション2016 概要》

主催 : 丸の内イルミネーション実行委員会(以下の団体で組成)
 東京都、千代田区、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、
 NPO法人大丸有エリアマネジメント協会

協力 : 三菱地所株式会社

企画制作 : 三菱地所プロパティマネジメント株式会社

実施期間 : 2016年11月10日(木)~2017年2月19日(日) 102日間(予定)

点灯時間 : 17:00~23:00(予定) ※12月は、24:00まで点灯予定

場所 : 丸の内仲通り、大手町仲通り、東京駅周辺

電球数 : 約103万球 シャンパンゴールド(LED) ※丸の内オリジナルカラー (2007年より同色)

【NEWエコイルミネーションとは】

従来型LED電球の電力をコントロールすることで、使用電力を約65%削減しながら同等の明るさを得ることに成功した「エコイルミネーション」のエネルギー消費をさらに低減し、高効率化を実現した新モデル。
⇒明るさは従来のエコイルミネーションのまま、使用電力の約30%削減を実現。約48万球を丸の内ブリックスクエア前~新丸ビル前、及びJPタワーKITTE前に導入予定。

【丸の内イルミネーション2016 開催マップ】



● NEWエコイルミネーション ● エコイルミネーション ※丸の内仲通り: 有楽町電気ビル~丸ビル 及び 新丸ビル~iiyo!!(イーヨ!!)
 ※大手町仲通り: 大手町フィナンシャルシティ サウスタワー~ノースタワー

《丸の内仲通りについて》

- ・「丸の内仲通り」は、1960年代から一体的整備が進み、日本を代表するビジネス街に相応しい、幅員21m、全長1.2kmに及ぶ都心の街路として誕生しました。2002年以降の再整備を通じて、歩道が拡幅し(歩道:車道:歩道=6m:9m:6m→歩道:車道:歩道=7m:7m:7m)、街路樹や路面が美装化されたことで、通過するだけの道路空間が、多彩な店舗やイベントなどで賑わう「快適な交流空間」へと変化を遂げています。
- ・街路空間を変えた「都市の居間」というリノベーションコンセプトとデザイン、公民連携でのエリアマネジメント運営が高く評価され、「土木学会デザイン賞最優秀賞」(2013年)、「グッドデザイン賞」(2014年)、「都市景観大賞(大賞の国土交通大臣賞)」(2015年)など、数々の賞を受賞。
- ・2014年度の国家戦略特区道路占用特例区域認定、2015年度の交通規制時間帯の延長を経て、現在は大丸有地区公的空間活用モデル事業実行委員会を立ち上げ、「アーバンテラス」というコンセプトのもと、就業者や来街者などに道路空間を開放し、オープンカフェや移動式店舗、様々なイベントを展開しています。丸の内イルミネーション2016でも、冬ならではの道路空間の活用を検討中です。三菱地所株式会社は、大丸有まちづくり協議会を通じて同実行委員会に参画しています。

(<http://www.ligare.jp/model-pj2015/>)



丸の内仲通りは
 人のための通りへ
**URBAN
 TERRACE**

大手町・丸の内・有楽町地区 公的空間活用モデル事業



○参考情報: 丸の内エリアのコンセプトワードについて

Dynamic Harmony

Tokyo Marunouchi

「Dynamic Harmony」は、丸の内エリア(大手町・丸の内・有楽町・常盤橋地区)のまちづくりコンセプト「Open」「Interactive」「Network」「Diversity」「Sustainable」をベースにした、丸の内エリアの多様なあり方を表現したワードです。「あらゆるものをダイナミックに調和させ、新たな価値を生み出す街」丸の内。それは、私たち三菱地所が世界に発信する街のあり方です。